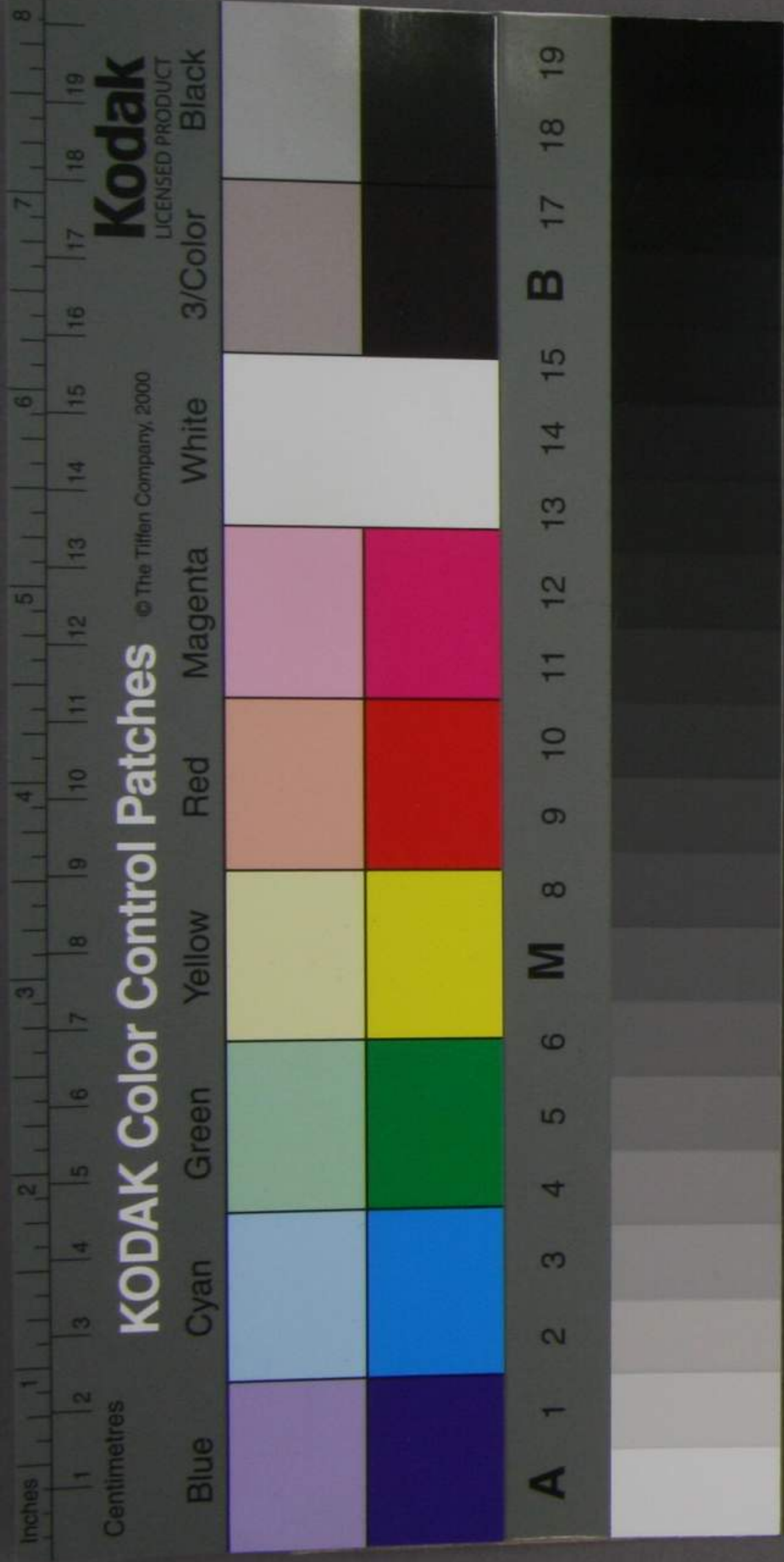


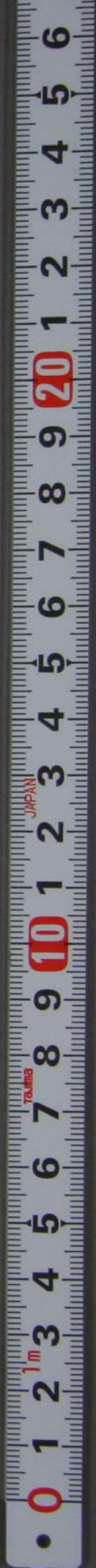


下等之貨幣發行をき数の家ハ国内
融通の永利大程ニあるをト云ふ理ハ當今誰
ノ當知ト思ふ此以省ミタリハ性質良キ
貨幣ハ外ニ遷リ其惡處ニシテ残り
人民ノミナリト政府ハ大損害致受テ抑

覚書

114
A1778

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈



有る理宜なる為各國の事情往々有る或國にハ
政府毎年以前其年中に發行せし下等貨幣
の數を公定するなり或國にハ人口之多寡
に從テ右下等貨幣の數を定むるなり譬ハ
佛國伊太利ベルジウム國瑞西國ギリシア國
ニテ下等貨幣の數を一人に付六フランク
(佛國の貨幣ニテ一フランクハ
メキシコ銀五セントに當ル)之割合ニテ極ラシム

其外下等之貨幣の數を融通金利大ニ限
る為各國政府常ニ行ふ事當ニ右下等之貨幣
人民互ニ相拂ふ時ハ其價の拂方之數用
ふ一併政府に納方何れハ何程の高き
マシ其貨幣の數用ふ事極ラ有る譬ハ人民
相拂ふ時右五國ニテ下等之貨幣中に貴きもの

ニフランリニ五倍程の金高ハ下等貨幣を以テ
拂ふべき事有り日本政府ハ右様の事南米整
々之ハ下等貨幣を發行せしむ數限なく且
新貨幣の下等種類五十セントより始りる
錢ニテ人民之通用之を一類ニ百倍
受取家有之に付合セラメキシコ銀八十五枚程
の價に右下等の貨幣を以拂ひ得

政府ハ唯此ト同割合ニテ請取様見
其外各國行ふに當り性質の異なる貨幣と
通用のたのしき磨鍊を多し其真價
受取家有之且下等の貨幣ハ其目の五
分磨減を多し政府之は皆取上其代を
ふハ例有之右二例の一例人民所を行ふ

時政府其損免_レ免_レ多_クた_レあり其_二則下
等貨幣ハ之_レ發行セ_一時政府其利益_レ免
得_一故磨缺セ_一時之引替其損免_レ任_レ下
磨缺セ_一貨幣_一容_レ易_一 三ツ
に△
の言に在り

右_二なる_一國_二行_レぬ様見_一(其外磨缺
セ_一貨幣_二取_レ先後_一就_レる_一規則_二多_クそ_一
日本國の造幣寮ニ_レ金_一銀_一の割合十五_一
一ト_一極_レる_一且_レ金_一銀_一の割合十五_一
一ト_一極_レる_一且_レ金_一銀_一の割合十五_一

唯銀貨幣_二渡_レる_一極有_レ之_一抑_レ今迄_二十
年間金_一銀_一の割合十五_一分七厘_一一ツ_一不_レ過
今大概十六_一一ツ_一成_レ義_一有_レ之_一且_レ前_二の事_一は
見_レる_一大坂造幣寮_二金_一貨幣_一の鑄
立_二方_一ある_一例_二後_一見_レる_一右種々申_レ述_レる_一
知_レる_一日本國貨幣規則多_ク分_レ他國_一

規則ニ似たりと大ニ共外國ニ商法の無利
在調多る為常ニ行ふ事大槪漏レ
事在明